

令和6年1月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は1,520億円（対前年同月比0.7%の増加、比率ベース：4ヵ月ぶりの増加）、輸入総額は1,435億円（同9.1%の増加、10ヵ月ぶりの増加）であった。差引額は84億円（同56.5%の減少）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「加熱用・冷却用機器」、「原動機」などは減少したものの、「二輪自動車類」、「写真用・映画用材料」、「船舶類」などが増加した。
輸入は「がん具及び遊戯用具」、「パルプ」などは減少したものの、「事務用機器」、「電気回路等の機器」、「無機化合物」などが増加した。

地域別では、輸出は「アジア」が増加、「アメリカ」、「EU」は減少した。輸入は「アメリカ」が増加、「アジア」、「EU」は減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,520億円	+0.7%	1,435億円	+9.1%	84億円	▲56.5%
	4ヵ月ぶりの増加		10ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 二輪自動車類	173億円	+14.1%	輸入	増加品目	(1) 事務用機器	16億円	3.0倍
		(2) 写真用・映画用材料	50億円	+62.5%			(2) 電気回路等の機器	21億円	+68.6%
		(3) 船舶類	21億円	9.8倍			(3) 無機化合物	11億円	4.0倍
	減少品目	(1) 加熱用・冷却用機器	14億円	▲79.1%		減少品目	(1) がん具及び遊戯用具	8億円	▲95.2%
		(2) 原動機	201億円	▲19.4%			(2) パルプ	27億円	▲50.2%
		(3) 半導体等電子部品	32億円	▲27.8%			(3) その他の採油用種子	—	全減
主要地域増減	アジアが増加、アメリカ、EUは減少			主要地域増減	アメリカが増加、アジア、EUは減少				

（参考）ドルレートは、143.95円（前年同月比9.0%、11.87円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	5億円	▲2.8%	14億円	▲39.1%	▲8億円	▲50.9%
	2ヵ月ぶりの減少		3ヵ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 写真用・映画用材料	252百万円	+32.2%	輸入	増加品目	(1) 石炭	251百万円	全増
		(2) ポンプ及び遠心分離機	56百万円	26倍			(2) 有機化合物	439百万円	+5.8%
		(3) プラスチック	30百万円	8.2倍			(3) とうもろこし	501百万円	+3.8%
	減少品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	20百万円	▲87.1%		減少品目	(1) パルプ	59百万円	▲70.3%
		(2) 糖類及び同調製品・はちみつ	—	全減			(2) 魚介類及び同調製品	29百万円	▲71.2%
		(3) 無機化合物	41百万円	▲28.4%			(3) バッグ類	4百万円	▲84.2%
主要地域増減	アメリカ、アジアが減少、EUは増加				主要地域増減	アジアが減少、アメリカ、EUは増加			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	356億円	+28.8%	32億円	+14.2%	325億円	+30.4%
	16ヵ月連続の増加		2ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	234億円	+46.2%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	11億円	7.1倍
		(2) 自動車の部分品	40億円	+92.2%			(2) 調製石油添加剤	4億円	全増
		(3) 金属製品	7億円	+20.9%			(3) 木材及びコルク	3億円	355倍
	減少品目	(1) 無機化合物	5億円	▲52.9%		減少品目	(1) 有機化合物	1億円	▲67.5%
		(2) 二輪自動車類	11億円	▲28.1%			(2) プラスチック	6億円	▲18.6%
		(3) 非鉄金属	1億円	▲54.3%			(3) 染料・なめし剤及び着色料	—	全減
主要地域増減	EU、アジアが増加、アメリカは減少				主要地域増減	アジアが増加、EU、アメリカは減少			

4. 静岡空港

輸出入実績なし